

海底の

砂ひと粒に

地球の貌

遙かの時代

連れて来るなり

大いなる

海の底に

集いたる

砂ひと粒に

遙かな地球

山海を

つなぎ流れる

河川なり

三者の和音

列島を奏でる

高みなる

氷河の湖（うみ）に

潜りたる

あらため知るや

命水（みず）の循環

ホシダワラ いのちはぐくむ 海中林

陽光に われ映しだす 排気泡

群青に 映えるヒラマサ 黄緑線

晩冬の海 緑あざやか 若芽かな

砂地はう 孔雀見まごう ホウボウか

キビナゴの 群泳ひかる 海の夏

つんつんと 岩藻食する カワスズメ

凜として 仁王立ちたる 海トサカ

ながれ藻に 隠れて稚魚の 旅路かな

潮騒に 夢さそわれる 潜水行

珊瑚礁 隠れ小魚 思案なに

海女小屋の 紫煙は何処 浜の海

水底の 静けし大地 我ひとり

キビナゴの 群れうねるは 竜のごと